

お元気ですか？こちらは 白川町地域包括支援センターです

No.1 平成19年8月発行

平成18年4月、介護保険制度の見直しが行われ、全国的にどの市町村でも地域包括支援センターが設置されました。皆様に地域包括支援センターを身近に感じていただき、ご利用いただきたいと思っております。

地域包括支援センターの理念

「白川町の高齢者の方が、安心して元気でその人らしい生活を継続することが出来る。」

地域包括支援センターでは以下の活動をしています。

- ⊕ 高齢者のいきいきとした生活を支え合えるような社会づくり・地域づくりに努めます。
- ⊕ さまざまな相談を受け、必要とする支援をご紹介します。
- ⊕ 高齢者のその人らしさ（権利）を守ります。（虐待防止・消費者被害の防止）
- ⊕ 白川町のさまざまな制度や活動を分かりやすくまとめ、相談にあたる誰もが的確な支援が出来るような体制づくりに努めます。
- ⊕ 介護が必要な状態にならないよう、予防に努め、心身の状態が活動的に保てるようなお手伝いをします。

白川町地域包括支援センター 職員紹介



主任ケアマネジャー

田口 千枝子



保健師

長尾 ひろみ



社会福祉士

則武 弘美

住所 〒509-1106

白川町坂ノ東5770 白川病院在宅総合ケアセンター内

電話・FAX 0574-79-0033 24時間相談対応

メールアドレス houkatu-t33-n44-n55@marble.ocn.ne.jp



白川町地域包括支援センター活動紹介

⊕ 相談窓口 ⊕ どんな相談を聞いてくれるのかな？

⇒ 高齢者に関する相談事ならなんでも、どんなことでもかまいません。

例えば、

「家のおばあちゃん物忘れが出てきて心配だわ。ほっといていいのかな・・・」

「足腰が弱くなって、病院へもいけない。」

「近所のおばあさんの言動が気になるけど、どこに相談したらよいかしら？」



「隣のおじいさん、寝込んだそうだけど、おばあさん一人で大丈夫かしら・・・」

「介護サービスが利用したい」

「訪問販売でこんなもの買っちゃった。断りたいけど・・・」

「一人暮らしで淋しくて」

プライバシーには十分配慮して相談に応じます。安心してご相談下さい。

⊕ 他にはどんな仕事をしているのかな？ ⊕

⇒ 昨年の状況から活動をご紹介します。



地域の各種集まりに出向いて「介護予防について、元気で過ごすために」などのお話をさせていただきました。

民生委員さん、ヘルパーさん、デイサービス・デイケアの人、病・医院の関係者、看護師さん、保健師さん、福祉担当者など多くの関係者の方々と共に、高齢者にかかわる課題や、困ったことについて相談しあっています。



その他、町内にある様々な資源を皆様知って活用していただくために、地域を歩き回って、情報を収集し、冊子にまとめていく作業をしています。

白川町地域包括ケア会議を行っています

白川町地域包括ケア会議は、介護状態に近づいたり寝たきりになったりすることを防ぎ、高齢者の方が暮らしやすい地域づくりを推進する会議です。

⊕ 会議の目的 ⊕

- 1、お互いが介護の必要な状態にできるだけならないよう地域で支え合うにはどうしたらよいか、白川町内で何ができるかを考えます。
- 2、地域の団体・福祉関係者・社協・行政などと連携をとり、介護状態に近づかないためにできる効果的な支援について考え、地域づくりを推進します。

⊕ 参加メンバー ⊕

ボランティア代表（地区住民代表・五感健康法推進員）、老人クラブ連合会、（有）白川野菜村チャオ、シルバー人材センター、チャオ白川スポーツクラブ、社会福祉協議会、サンシャイン美濃白川、白川病院在宅総合ケアセンター、役場（経営管理課まちづくり推進グループ、農林商工課農務グループ、中央公民館長、教育課子育て支援グループ、保健福祉課保健グループ・福祉グループ）、岐阜県立看護大学（*注1）、白川町地域包括支援センター

*注1 県立看護大学と保健福祉課・包括支援センターは、白川町のよりよい活動のあり方をめざして共同研究に取り組んでいます。

⊕ 昨年度の討議内容 ⊕

昨年度、地域包括ケア会議を開始して、白川町内にどのような課題があるかを探る中で「小地域単位の集い」、「見守り体制」、「移動手段」の3つについて課題として取り上げました。中でも「小地域単位の集い」について検討し、（*「小地域単位の集い」とは地域の小グループ単位で高齢者が集うことを指します。）閉じこもりがちの方や何らかの理由で外出しづらい方の集まりが少ないことが浮き上がりました。また、集うことだけが重要なのではなく、高齢者個々の関心・興味を大切にしたい生きがいを支える地域のあり方が必要であることを再認識しました。

⊕ 高齢者が過ごしやすい地域をめざして ⊕

今後この会議がめざしていることは高齢者の方々が安心してその人らしくいきいきと生活できる地域をつくることです。

地域づくりは包括支援センターのみで行えることではなく、町内の様々な関係機関、そして今これを手にして読んでいる皆様の力なしにはできません。

ぜひ皆様には高齢者の方がそれぞれの場面でご活躍される姿を見守り声をかけていける良い関係を広げていってください。



高齢者実態把握事業について

包括支援センターでは、高齢者の皆様が**どんなことで困り、何を求めておられるのかを把握**し、今後の白川町の**制度のあり方を考えたり**、その方の**相談内容**に対して改善につながるようなお手伝いをしたりするために、高齢者実態把握事業を行っています。

訪問した際には気軽に、心配な事も含め生活の様子をお聞かせください。

- 対象者** 75歳以上の高齢者のうち、介護認定を受けていない方
- 実施方法** 以下の事業所に委託をし、実態把握調査員が訪問をして生活の様子などの話をうかがいます。(順次実施します)
- 委託事業所** ●さわやか白楽園 ●サンシャイン美濃白川
●白川町在宅介護支援センター(白川病院)

⊕ 実態把握調査員紹介 ⊕

<さわやか白楽園>



井道隆輔 安江知加子 藤井ゆかり 加藤美実 岡本道子

<白川町在宅介護支援センター>



藤井重子 松田恵美子 鳥澤ゆかり 藤井みや子 鈴木有也 和田功輔 林晃史

<サンシャイン美濃白川>



佐伯義充 安江文代 安江淳

私たちがおじゃまします。
皆様のお話を聞かせてください。
よろしくお願いします。

<あとがき>

「少子超高齢化」例外なく、白川町でもこの現象がみられています。白川町は全国と比べて特に後期高齢者(75歳以上)が多いのが特徴です。そんな今、いきいきと活躍する高齢者の方が多い魅力的な町づくりがすすめられています。包括支援センターは、山地水明自然豊かな、よいつきあい、人のぬくもりがのこるこの白川町で、子供からお年寄りまでが元気に過ごせる社会をめざして活動します。一緒に、よりよい白川町を作りましょう。